

交流によるまちづくりを推進

国内交流・国際交流

■問い合わせ先 市民協働推進課 ☎(32) 8887

なぜ、交流？

市では、国内交流・国際交流によるまちづくりを推進しています。まちづくりの基本的なルールを定めた自治基本条例においてもそのことが定められています。

36条で、歴史や文化を共有する国内の市町村と交流し、歴史や文化を大切にするまちづくりを推進するとされています。

また、37条では、国際交流の文化を大切にし、市民の国際交流活動の支援に努めるとされています。

国内交流

「国分寺」から 始まった友情

香川県高松市との交流

■交流のきっかけ

市が発足する前の平成13年当時、栃木県と香川県に全国で二つだけ、「国分寺」を冠する町がありました。その縁

で教育・文化・スポーツを中心とした交流が始まりました。

■市町村合併とその後の交流

両国分寺町は偶然にも同日の平成18年1月10日、それぞれ下野市と高松市として合併しました。

合併後も毎年小学生を中心とした交流が続き、平成25年6月には、下野市と高松市との間で歴史文化交流協定と災害時相互支援協定が締結されました。

■今年の小学生交流

8月8日から10日までの3日間、下野市国内交流協会の川俣一由副会長を団長に市内の小学6年生20人を含む24人が親善交流団として高松市に派遣されました。



讃岐国分寺跡を見学

高松市の国分寺北部小、南部小の児童との発表交流、讃岐国分寺跡等の貴重な歴史遺産の見学、讃岐国分寺交流協会の方々のご好意による地引網体験などにより、讃岐国分寺とその周辺の歴史風土への理解を深めました。



瀬戸内での地引網を体験

また、8月17日から18日の2日間、高松市讃岐国分寺小学生交流団23名が下野市を訪問しました。友愛館で開催された歓迎会では、市内交流協会の役員の方々により、市内で採れた農産物をふんだんに使った夏野菜カレーやかんぴょうの卵とじなどが振る舞われました。その後、高松市交流団からの発表や「下野市ふるさとかるた取り」などによる両市派遣団相互の交流会がもたれました。一行は、下

野国分寺跡、風土記の丘資料館、下野薬師寺歴史館、道の駅を見学し、下野市の魅力にふれました。

交流団の相互派遣により、両市子どもたちの友情の輪が広がり、両市の絆をさらに深めることができました。



友愛館での歓迎会



ふるさとかるたで交流

国内交流協会

会員募集中!

市内交流協会は、平成22年7月に設立されました。市民を主体とした幅広い分野での国内交流を推進し、相互理解と友情を深め、地域間の友好親善を図ることを目的としています。

会員の方は、高松市との交流事業に参加いただけます。毎年8月には、高松市から小学生交流団が下野市を訪問し、会員の方に交流会でお出しする下野市産のかんぴょうや野菜を使った料理を作っていただいています。国内交流事業に興味のある方ならどなたでも会員になれます。皆さまのご入会をお待ちしています。

■年会費

- ・ 個人会員
1口 1,000円
- ・ 法人会員
1口 3,000円
- ・ 団体会員
1口 5,000円

■問い合わせ先

下野市国内交流協会事務局
市民協働推進課
☎(32) 8887